

鬼北町議会 9月定例会

第3回鬼北町議会定例会は9月17、18、24日の3日間開催されました。会では承認1件、議案19件、諮問1件、発議3件が提案され、全ての案件について原案のとおり可決、認定されました。

承認

- 町長の専決処分（令和2年度鬼北町一般会計補正予算（第4号））の承認について
- 鬼北町手数料条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 工事請負契約（鬼北総合公園体育館空調設備整備工事（空調設備））の締結について
- 財産の取得について
- 令和元年度鬼北町一般会計決算の認定について
- 令和元年度鬼北町用品調達特別会計決算の認定について
- 令和元年度鬼北町住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
- 令和元年度鬼北町国民健康保険特別会計決算の認定について
- 令和元年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計決算の認定について
- 令和元年度鬼北町農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 令和元年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算の認定について

●令和元年度鬼北町介護保険特別会計決算の認定について

●令和元年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について

●令和元年度鬼北町ニュータウン鬼北の里特別会計決算の認定について

●令和元年度鬼北町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について

●令和元年度鬼北町病院事業会計決算の認定について

●令和2年度鬼北町一般会計補正予算（第5号）について

●令和2年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）について

●令和2年度鬼北町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について

●鬼北町人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（案）について

●米軍機による低空飛行訓練の中止を求める意見書（案）について

●JR予土線の利用促進に関する決議（案）について

一般質問

◆末廣 啓 議員

【危険空き家の除去について】

問 町内の空き家は何件ほどあるのか。そのうち、危険空き家はどれくらいか。

答 把握している町内の空き家の数は、514件である。この空き家の調査は、平成27年に行ったものだが、除却事業の基準をもつて調査をしていないので、現在のところ、危険な空き家の数については、把握できていない。

しかし、現在、委託業者による空き家実態調査を実施しており、調査完了後には、最新の空き家の戸数が確認でき、それぞれの空き家の危険度判定の目安になるものと考えている。

問 空き家除去の事前調査申出は年に何件ほどあるのか。

答 平成30年度は5件、令和元年度は11件、令和2年度は、6月30日の事前調査申出期限までに12件である。

問 町単独予算での、危険空き家除去に取り組む考えはないか。

答 当初予算には、老朽危険空き家除却事業費補助金として、上限80万円の8件分である640万円を計上していたが、6月30日の申込期限までに、12件の申込みがあったので、今回、一般会計補正予算に、4件分の320万円を追加計上している。町単独予算での除却については、現状を確認しながら、今後、対策を検討していく必要がある案件であると考えている。

【町長の2選出馬表明について】

問 兵頭町長の決意について

答 町民の皆さま自らが、わが町鬼北町を愛する心を持ち続けていた

いと願う「鬼北愛」という信念を胸に、今後さらに鬼北町のまちづくりを全力を注いでいきたいという強い思いを膨らませている。しかし、まずは喫緊の課題である豪雨災害およびコロナ禍において、苦しんでいる方への対策をしっかりと取り組むことを念頭におきながら、今後支援者の皆さまとさらに協議を重ねていきたいと考えている。

◆福原 良夫 議員

【7月10日頃、下大野地区で発生した水道水の濁りについて】

問 何日ぐらい続いたのか。

答 大雨の影響で発生した下大野地区での水道水の濁りは、7月8日から7月12日までの5日間、確認している。

問 どのような対応をしたのか。

答 7月8日、ろ過池の水を抜いて入れ替えたが、水質の改善には至らず、9日と10日も同様に、ろ過池の水を入れ替えたが、原水の透明度は改善しつづつあったものの、浄水には変化が見られなかった。11日、ろ過池の水を入れ替えたところで、透明度が大きく改善し、12日には、原水・浄水の透明度が通常時まで改善したため、配水管中の水の入替え作業を行い、午前11時に入れ替えを完了した。

問 飲料水はどうしたのか。

答 水質は、残留塩素濃度が基準値であり、原水・浄水とも異臭がなく、水の泡立ち等がなかったことから、大腸菌・一般細菌の繁殖はなく、飲用は可能であると判断し、飲用中止の措置は行わなかった。

【防災・減災について】

問 西日本豪雨の災害箇所はどれくら